

貯水槽清掃 作業報告書

記入例

受水槽・高置水槽の清掃の工程・消毒・水質の確認（作業の前後）

物件名	〇〇ビル	作業日	2026年7月2日
所在地	〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3	断水の時間	9:00～14:00
ご依頼者	〇〇ビル管理 〇〇〇〇様	作業会社	〇〇衛生サービス
作業責任者	〇〇〇〇	作業者	〇〇〇〇・〇〇〇〇（3名）

水槽

水槽	設置場所	材質	有効容量 m3	槽の数	備考
受水槽	1階 機械室	FRP（パネル）	20	1槽	
高置水槽	屋上	FRP（一体）	5	1槽	
有効容量の合計（10m3を超えると簡易専用水道）			25（10m3を超える）		

作業の工程

工程	実施	時刻	内容・数値
作業前の水質の確認（給水栓の末端）	済	9:00	残留塩素 0.3mg/L・色・濁り・臭い・味は異常なし
断水の開始・利用者への周知	済	9:05	前日に掲示。管理室へ開始を連絡
槽内の水を抜く（排水）	済	9:10	排水ポンプで排水
沈殿物・付着物の除去	済	9:50	底部に砂状の沈殿物（受水槽）。ちり取りとバキュームで除去
槽の内面の洗浄（底・壁・天井）	済	10:20	高压洗浄機とブラシで底・壁・天井を洗浄
洗浄水・汚泥の排出	済	11:00	洗浄水と汚泥を排水ビットへ
消毒（1回目）	済	11:20	次亜塩素酸ナトリウム 50～100mg/L・30分
消毒（2回目）	済	12:00	同じ濃度で2回目・30分
消毒後の水洗い・排水	済	12:40	水で洗い流して排水
張り込み・給水の再開	済	13:00	受水槽→高置水槽の順に張り込み
作業後の水質の確認（給水栓の末端）	済	13:50	残留塩素 0.4mg/L・色・濁り・臭い・味は異常なし

消毒

消毒剤	次亜塩素酸ナトリウム（12%）	濃度	50～100mg/L
時間・回数	30分×2回		

水質の確認 給水栓の末端で作業の前後に

	色	濁り	臭い	味	残留塩素 mg/L
作業前	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	0.3
作業後	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	0.4

作業後の残留塩素	0.1以上（mg/L）
測った場所・時刻	1階 給湯室の給水栓 作業前 9:00／作業後 13:50
次の清掃の目安	2027年7月2日まで（1年以内ごとに1回）

残留塩素は給水栓の末端で測る。遊離残留塩素は0.1mg/L以上を保つ（建築物衛生法 施行規則 第4条第1項第1号）。色・濁り・臭い・味に異常があれば、水質の検査が要る（同第5号）。消毒剤の濃度と時間は、仕様書と消毒剤の説明に合わせる。

貯水槽清掃 付帯設備・写真・確認

記入例

付帯設備の点検・写真の一覧・所見と申し送り・確認の署名。結果＝良／要注意／不良／対象外

物件名	〇〇ビル	作業日	2026年7月2日
-----	------	-----	-----------

付帯設備の点検

点検する所	結果	所見
マンホール（ふた・施錠・パッキン）	良	
通気管・オーバーフロー管の防虫網	要注意	高置水槽の通気管の防虫網に小さな破れ。応急でふさいだ。交換をおすすめします
オーバーフロー管・排水口のすき間	良	
ボールタップ・定水位弁	良	作動を確かめた
電極棒・満水と減水の警報	良	満水・減水の警報が鳴るのを確かめた
揚水ポンプ（音・振動・漏れ）	良	
槽の外面（ひび・漏れ・さび）	良	
槽のまわり（物を置いていない・水たまり）	良	

写真の一覧 写真の番号と、写っているもの

写真No.	工程	写っているもの
1	作業前	受水槽の槽内（底部の沈殿物）
2	作業前	給水栓での水質の確認
3	洗浄	底・壁の洗浄
4	洗浄	排出した沈殿物
5	消毒	消毒剤の散布
6	作業後	受水槽の槽内（清掃の後）
7	作業後	給水栓での水質の確認
8	付帯設備	高置水槽の通気管の防虫網（破れ）

所見・申し送り

受水槽の底部に砂状の沈殿物が多め。高置水槽の通気管の防虫網に破れがあり応急でふさいだ（交換をおすすめします）。作業後の水質に異常はなく、残留塩素は0.4mg/L。

確認

作業責任者	〇〇〇〇
確認者（建物の管理者）	〇〇ビル管理 〇〇〇〇
報告書の提出日	2026年7月3日

貯水槽の清掃は1年以内ごとに1回（特定建築物＝建築物衛生法 施行規則 第4条第1項第7号）・毎年1回以上（簡易専用水道＝水道法 施行規則 第55条第1号）。特定建築物では、この報告書を帳簿書類として5年間保存する（施行規則 第20条第2項）。 記入例の日付・名前・数値は書き方を示すための仮のものです。